

保護者のみなさま

小野市立小野南中学校長 岡田和幸

令和2年度学校評価結果について

早春の候、心なしか陽光にも春の気配が漂う頃になりました。

平素は本校教育にご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、本年度も本校の教育活動について評価をしていただきました。結果をご報告するとともに、次年度の実践に生かしたいと考えております。今後とも温かいご支援をよろしくお願いたします。

アンケート結果表について

○28の質問項目を「学校生活」「確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」「家庭学習の充実」「教育環境の整備」という6つの観点にまとめ報告します。

○評価結果の見方

A：思う B：少し思う

○平成28年度、平成30年度、令和2年度の比較はA・Bの合計ポイントによる比較です。

【学校生活】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
1	生徒	楽しく学校生活を送っている。	96%	91%	95%
	保護者	楽しく学校生活を送っている。	96%	95%	94%
2	生徒	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	97%	98%	98%
	保護者	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	96%	97%	94%
3	生徒	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	89%	82%	87%
	保護者	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	88%	89%	87%
4	生徒	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	99%	97%	97%
	保護者	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	96%	96%	91%
5	生徒	交通ルールを守って登下校している。	100%	99%	99%
	保護者	交通ルールを守って登下校している。	97%	97%	94%
6	生徒	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	95%	94%	89%
	保護者	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	89%	90%	86%

令和2年度に最高値を示した項目が増えています。多くの生徒が、学校生活を楽しいと感じているようです。今年度はコロナの影響で行事を縮小してきましたが、工夫をして行うことができた行事もあり、その成果があったように思います。3学期の始業式において生徒会引継ぎ式を行い、8年生が中心の新生徒会がスタートしました。全校生が生徒会活動を中心にあいさつや交通についての意識向上を目指して取り組んでいます。

【確かな学力】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
7	生徒	授業は分かりやすい。	93%	91%	91%
	保護者	分かりやすい授業がなされている。	88%	92%	87%
8	生徒	自分は授業に集中して取り組んでいる。	93%	98%	91%
	保護者	お子さんは、授業に集中して取り組んでいる。	88%	92%	85%
9	生徒	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、授業は楽しい。	90%	90%	90%
	保護者	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、楽しい授業がなされている。	88%	94%	86%
10	生徒	数学や英語での少人数授業や複数指導は分かりやすい。	90%	91%	93%
	保護者	数学や英語での少人数授業や複数指導は分かりやすい。	81%	89%	87%
11	生徒	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	82%	82%	81%
	保護者	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	77%	82%	77%

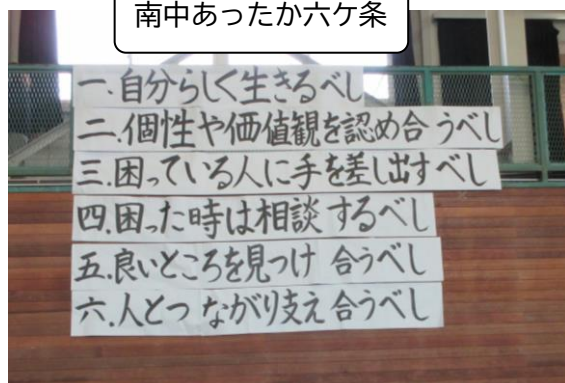
アンケートの結果より、わかりやすい授業が展開され、生徒は授業に集中している様子がうかがわれます。おの検定においては、朝の南中タイムでテキストやプリントを利用し学習を進めています。家庭学習においても練習し、合格に向けて取り組む生徒が増えてきました。また、本校では「教えて考えさせる授業」の実現に向けて今後も授業の改善に向けて取り組んでいきます。併せてご家庭でも家庭学習の習慣化にご協力をお願いします。

【豊かな心】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
12	生徒	道徳の授業では、自分の思いや考えを発言している。	83%	85%	77%
	保護者	自分の思いや考えが発言できている道徳授業がなされている。	90%	91%	87%
13	生徒	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	98%	96%	97%
	保護者	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	95%	100%	93%
14	生徒	相手を大切にする思いやりの心が育ってきたと思う。	97%	93%	95%
	保護者	相手を大切にする思いやりの心が育っている。	95%	97%	93%
15	生徒	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	98%	96%	98%
	保護者	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	95%	94%	92%

道徳授業を要として、人権旬間や人権フィナーレなどの取組を通し、人権意識の向上が見られます。いじめを許さない心情や態度、相手の立場や気持ちを思いやる姿勢が高まっています。来年度に向けて、生徒の自尊感情を高め、クラスや学校全体の絆をより一層高める取り組みを推進していきたいと考えています。

南中あったか六ヶ条



【たくましい身体】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
16	生徒	部活動に熱心に取り組んでいる。	96%	95%	94%
	保護者	部活動に熱心に取り組んでいる。	96%	96%	88%
17	生徒	部活動の活動内容や活動時間は適当である。	89%	84%	81%
	保護者	お子さんの部活動の活動内容や活動時間は適当である。	89%	87%	81%
18	生徒	朝ごはんを毎日食べている。	95%	94%	94%
	保護者	朝ごはんを毎日食べている。	95%	93%	92%

年2回のひまわりカードの取り組みや、毎月のいきいき度チェックにより自分の食生活改善への意識が定着してきました。部活動にも熱心に取り組む、休養と部活動とのバランスがとれていると感じている保護者や生徒が増えました。今後も、部活動の練習内容を充実させていきたいと考えていますので、ご家庭での協力よろしくをお願いします。

【家庭学習の充実】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
19	生徒	メールやブログ、インターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	91%	89%	88%
	保護者	メールやブログ、インターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	79%	79%	68%
20	生徒	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	87%	80%	68%
	保護者	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	73%	73%	64%
21	生徒	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	76%	76%	72%
	保護者	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	68%	70%	63%
22	生徒	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	76%	79%	62%
	保護者	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	60%	65%	55%
23	生徒	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	54%	55%	54%
	保護者	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	65%	65%	59%



南中 SNS ルールなどの取組により、約束を決めて適切に使用し、規則正しい生活ができている生徒が増えました。しかし、日々の課題に追われ、苦手科目の復習等自主的な学習ができている生徒は、数値が低くなっています。そこで学校としては、「家庭学習の冊子」等を利用し時間を有効に使い、家庭学習の質を高められるように指導していきたいと考えています。

「家庭学習の充実」の項目においては、保護者と生徒との認識に大きな差があります。ご家庭でもよく話をさせていただきますようお願いします。

【教育環境の整備】

	評価者	評価内容	R2	H30	H28
			A・B	A・B	A・B
24	生徒	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	98%	98%	95%
	保護者	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	93%	92%	87%
25	生徒	先生の授業は、教え方はきめ細やかで、わかりやすい。	92%	88%	87%
	保護者	教え方はきめ細やかで、わかりやすい授業がなされている。	86%	90%	84%
26	生徒	先生は相談によく乗ってくれる。	91%	90%	89%
	保護者	先生は生徒の相談によく乗ってくれる。	93%	88%	85%
27	生徒	夢や希望・目標をもって、それに向かって努力している。	90%	91%	88%
	保護者	家庭で夢・希望・目標に向かって頑張ることの大切さについて話し合っている。	88%	91%	90%
28	生徒	小学生(6年生)とのふれあい行事は、大切だと思いますか。	93%	88%	
	保護者	小野南校区の小中一貫教育は、9か年のカリキュラムを見通した教育となっている。	77%	82%	

項目24～27はいずれも高い数値を示しています。特に清掃においては、9年生をリーダーとした縦割り清掃の取組により、清掃への意識が高く、毎日熱心に取り組んでいます。本校の良き伝統となり、9年生から下級生へと本校の良き伝統が引き継がれています。

学級担任は毎日の「生活のあゆみ」に目を通し、年2回の教育相談では生徒たちに寄り添った対応につとめ、生徒との信頼関係を築くようにしています。

本年度は、残念ながらコロナの影響で小学生とのふれあい行事が実施できませんでしたが、大切だと思っている生徒が多いことがわかりました。来年度はできる範囲で工夫した取り組みができるように、小中が連携して考えていきたいと思っています。

緊急事態宣言の発令による臨時休校により、授業時数を確保することや生徒の学力を向上させることが懸念された一年でしたが、夏季休業期間の短縮や工夫を凝らした授業、生徒の頑張り、家庭の協力により、年度当初の計画どおりに教育を実践することができました。学校行事については内容を精選し、感染症対策を徹底した形で実施したことにより、生徒にとって安心感とともに成就感を抱く貴重な機会となりました。

学校評議員からは、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、生徒の学習環境を整えたことを高く評価されました。さらに、学力向上だけでなく、豊かな心の育成やいじめ防止対策、家庭・保護者との連携した教育実践についても、小学校からの一貫した教育の賜物として評価していただきました。また、臨時休校中に課題となったオンライン授業に触れ、早期に環境整備を行い、GIGAスクール構想を実現することの重要性について提言されました。

今後は、これらの提言を踏まえ、感染症対策による安全安心を確保するとともに、本校の良き伝統を継承しながら、時代の流れに即した教育実践に取り組めます。

小野市立小野南中学校長 岡田 和幸

